

議 会 だ ぶ り

うれいの

給与と報酬を減額

議会へさまざまな意見

中学生が議会を傍聴

一般質問に11人

5
P

10
P

11
P

12
P

12月定例会

案議 議審

平成22年第4回定例会が、12月3日に召集され、15日まで13日間の日程で開催されました。

平成22年度一般会計補正予算をはじめ、国民健康保険特別会計など7つの特別会計補正予算、条例改正2議案、建設工事委託の変更協定、指定管理者の指定、人事案件2件が提案され、慎重な審議の結果、賛成多数で可決されました。（賛否表はP6）

また、請願と議員発議による国への意見書5件を賛成多数で可決しました。（P6・P8）

一般質問には11名が登壇し、2日間にわたり市政を質しました。（P12）

繰越金のほとんどを 貯金に積立

平成21年度の繰越金として5億7614万円を平成22年度の歳入に計上しました。

この内5億2557万円を基金（貯金）に積立て、残りの5057万円を12月補正として各種事業に充てました。

繰越金の大半を積立たのは、今後、社会文化体育館・塩田中改築などの大型事業が予定されて

いるためです。

また、今後も税収の落ち込みが予想され厳しい予算の中、事業の推進に よって貯金は減り借金は増えると考えられるので、借入金返済の財源、あるいは事業に活用するためです。

市民のために貴重な予算を有効に活用できるように、議会としても厳しいチェックが必要です。

各種基金残高

（単位：千円）

各種基金	12月補正金額	基金残高
財政調整基金	225,571	1,156,944
減債基金	150,000	884,342
公共施設基金	100,000	831,082
地域づくり推進事業	0	348,226
学校建設	50,000	259,065
ふるさと応援寄付金	0	765
下水道事業	0	136,708
奨学資金積立金	0	42,480
人づくり振興	0	50,000
地域福祉	0	464,051
ふるさと水と土保全対策	0	20,413
合計	525,571	4,194,076

キャンプ場も民間で運営できます

嬉野市営キャンプ場条例の全部を改正しました。現在、直接雇用している広川原愛林組合員の高齢化と雇用期間が限定されているため、今後は従業員の確保が難しくなることが予想されます。そのような事態になつた場合、速やかに民間団体へ管理委託ができるよう、今回の条例改正となりました。

主な内容は、キャンプ場の管理運営を指定管理



楽しかったキャンプファイヤー（五町田小）

者に委託できるようにすること、利用時間及び利用期間や使用料、現状の回復義務、損害賠償などです。

利用期間は、4月の最終土曜日から10月の最終日曜日までの土曜日及び日曜日（7月20日から8月31日までの期間は毎日）となっています。

また利用時間は、宿泊当日午後3時から翌日午後1時まで。

施設を利用した休憩は午前11時から午後2時までになります。

使用料金は、周辺事

情を考慮し6人用コテージの料金が、1室で1泊1万5000円から1万8000円に値上げとなりました。

コテージやコインシャワー、オートキャンプサイトなど設備も充実していますので、今後多くの皆様に利用していただきたいと思えます。

嬉野市の基幹産業である「うれしの茶」のブランド向上のため、平成20年の3月に茶業研修施設が完成しました。

平成21年度と22年度には、全国茶品評会において農林水産大臣賞と産地賞を連続受賞することができました。

2年連続しての受賞は大変栄誉あることで、生産者の皆さんの努力の結果といえますが、この茶業研修施設が果たした役割も大きいと思われま

今回、この茶業研修施設を、指定管理者へ移行することにしました。

指定を受けられる団体は、JA（佐賀県農業協同組合）で、これまでも嬉野の茶業の発展に、長年にわたり寄与されてこられました。

応募された理由としては、当施設の設定時よりJAの茶技術指導員が、市への出向職員として製

「嬉茶楽館」の運営をJAへ



更なるブランド向上を目指して

造指導にあたっていることと、これからも茶の振興には努力していかねばならないこともあり、施設運営に参画することは何よりも望ましいと判断して応募されています。

また施設の将来への展望として、一般茶を始め、特殊茶（紅茶やウーロン茶など）の受託製造もおこない、より多くの生産

者に利用していただくこと、また嬉野市の観光関係団体との連携により、観光客の視察受入をおこないたいとされています。

指定管理者への移行により、更なる製造技術の研鑽と、うれしの茶のブランド向上のために取り組んでいただきたいと思います。

本年5月に 歌唱コンクールが開催



歌声響け、湯の町に（UD大会より）

今回、嬉野文化連盟の主催による「うれしの湯の町音楽祭歌唱コンクール」が5月22日に嬉野公会堂において開催されることになり、負担金として50万円が計上されました。

目的は、全国的に湯の町として知られている嬉野温泉をPRするために、音楽歌唱コンクールを開催することで宿泊客を呼びこむと共に、嬉野市の文化振興をはかることとしています。内容としては、課題曲・

一般歌謡・民謡の3部門に分かれ、テープ審査、2次審査（21日）、決勝戦（22日）がおこなわれ、それぞれの部門ごとに優勝者が決まります。

このような歌唱コンクールに取り組みられている地域は、全国的にも多数あり、その中でも福岡県の大川市で開催されている「古賀政男記念音楽祭」などは固定的なファンなどで大変な賑わいを見せているそうです。

この催しはこれからも毎年続けていくことが計画されています。

新しい嬉野市のイベントとして定着させるためには、盛會な大会としなければならず、本年度の取り組みが重要となります。

九州新幹線利用の 宿泊客に助成金



「さくら」「みずほ」「つばめ」の効果を嬉野温泉へ

うため、キャンペーンのチラシを作成し、関西方面への周知徹底をはかり、集客増に努めます。

また、観光用のチラシやポスターは、旅行代理店の関西営業所本部などを通じて、各店舗に配布し誘客を働きかけます。

議会では、「広島、山口県など中国地方までは、嬉野温泉は知られていないと思うが、その地域からの観光客の減少が続いている。はたして関西方面からの観光客の増加に効果があるのか」「この事業は嬉野温泉観光協会でおこなうべきだ」また、3月12日からの20日間だけ補助して効果があるのか」というような意見もありました。

この事業が観光客の増加につながれば、市としては5月の連休ぐらいをめどに継続を検討する方針です。

本年3月の、九州新幹線鹿児島ルート開通に合わせ、嬉野市では観光客誘致をはかるため、79万6000円の予算が計上されました。

これは鹿児島ルートが全線開業することによって、その利用者を、嬉野温泉へ呼び込むことを計画した事業です。

への認知度が低い関西方面からの観光客を増すため、鹿児島ルートを利用して嬉野温泉に来ていた場合、嬉野温泉旅館組合と共同で、九州新幹線利用者の宿泊料を1人1万2000円と想定して、2割にあたる2400円を上限に割り引く制度です。

この制度を知ってもら

臨時議会

11月29日に第2回臨時議会が開催されました。
提案された議案は一般会計補正予算・条例の一部改正や専決処分など4議案で慎重審議の結果可決しました。

給与と報酬を

2054万円減額

人事院勧告にもとづいて、公務員給与と民間給与の格差を是正するため市の職員の給与と議員・市長などの特別職と職員の手当が減額されました。職員は総額で1921万5000円、市長などの特別職は総額33万8000円、議員は総額98万9000円が減額に

なります。

これによつて市が人件費に支出するお金が合計で2054万円削減されることになりました。日本の経済が早く回復し、国民所得が向上することを望みます。

狩猟期間も 駆除費を助成

イノシシ捕獲助成金として、350万円の予算が計上されました。本年度は、全国的に鳥獣被害が多発しています。嬉野市においてもイノシシによる被害が増大しています。昨年度1年間に捕獲されたイノシシが600頭強だったのに対し、本年度は有害鳥獣駆除期間の4月から10月までに800頭以上捕獲され、被害も増加しています。長年にわたり猟友会の

方が捕獲に協力いただいております。駆除期間には助成金として1頭5000円が支払われます。しかし、狩猟期間の11月から3月までは助成金の対象外でした。今回、狩猟期間の捕獲に対し、市単独で700頭分350万円が上乗せとなりましたので、今後捕獲に尽力をお願いするところです。しかし、現在の対策は捕獲や電柵などの防御以外に根本的な対策が確立



増えつづけるイノシシ

されておらず、このままでは、中心街までイノシシが出没する日が来るのではと危惧されます。

イノシシ対策については市単独ではなく国・県を上げて生態系の部分から解明し、人間と動物が共生できる環境をつくり上げていく必要があるのではないかと考えられます。

市民のみなさんから 議会へ



損傷いちじるしい緞帳

保護者の補修では不可能
塩田中学校体育館の緞帳どんちょうを新しく

陳情者

塩田中学校PTA会長

永松万一郎
他役員

子ども達の安全のために
県道嬉野下宿塩田線の街路灯の設置を

陳情者

嬉野中学校PTA会長

嬉野高等学校PTA会長

福田 正文
宮崎 康郎

社会に貢献できる人材を育成するために
看護高等専修学校に財政的援助を

陳情者

鹿島藤津地区医師会立看護高等専修学校

校長 中村 秀三

緑豊かな自然景観や歴史的街並みを将来へ
嬉野市景観条例の早期制定を

陳情者

社団法人 嬉野温泉観光協会

会長 山口 保



未来の看護師のたまご達

とどけ地方の声

意見書が可決されました

日本の領土を守るための早急な対策を

提出者 神近 勝彦
賛成者 大島 恒典
小田 寛之
田中平一郎

9月7日に、日本の領海内である尖閣諸島付近で、海上保安庁の巡視船と中華人民共和国の漁船が衝突する事件が発生した。

海上保安庁は船長を逮捕し、政府も尖閣諸島に領土問題は存在せず、日本固有の領土との立場によって、「国内法に基づき粛々と処分する」との方針を表明していた。

しかしながら、中華人民共和国は、「魚釣島とその周辺は中国固有の領土である」と述べた。

また、数回におよぶ抗議やフジタの社員の拘束、レアアースの輸出禁止など様々な対抗措置をとった。

沖縄地方検察局は、船長を9月24日に釈放したが、このことは我が国が中華人民共和国の圧力に屈したと言われても仕方

が無い愚行である。

このことによって、尖閣諸島ならびに東シナ海の領海、領土を圧力によって奪い取られる可能性が大きくなったといわざるを得ない。

よって、日本の領土を守るため政府に下記のことを早急に実施することを求める。

- 1 個人所有地を国有地にする。
- 2 尖閣諸島に海上保安庁ならびに自衛隊を駐留させること。
- 3 第11管区海上保安庁の強化を図り、日本国民が安心して航行ならびに漁船の操業ができるようにすること。
- 4 領海侵犯ならびに不法上陸した外国人に対し、国際法と国内法に基づき厳しい措置をとること。(抜粋)

佐賀県嬉野市議会
議長 太田重喜



衝突してきた中国漁船（ユーチューブより）



子ども達にとって楽しい給食時間

子ども手当から学校給食費への充当を

提出者 文教厚生常任委員会

我が国では、昭和29年に定められた「学校給食法」の制定以降、学校給食制度が充実され将来を担う子ども達が、健康やかな成長の為に、安全で安心な給食を公平に受けることができるようになった。

しかしながら、今日の社会経済状況は、明るい兆しが見えず低迷していることもあり、給食費を納めている保護者と給食費滞納保護者との間に負

担の公平性を欠くという現実が生じている。

学校長やPTA等においては、収納対策に大変苦慮されている状況である。

このことを踏まえ、滞納保護者については、「子ども手当」より給食費に充当できる制度の構築をするよう強く要望する。(抜粋)

佐賀県嬉野市議会
議長 太田重喜

有明海再生のための早期開門調査を

提出者
賛成者
男 菊 田
信 好 村
秋 睦 口
也 陸 原
之 寛 田
一 浩 小
辻



どうなる、排水門

有明海では、依然として赤潮、貧酸素水塊が多発し、二枚貝類は激減しノリの色落ちが発生するなど、一日も早く有明海の再生を強く望む状況が続いている。

こうした状況のなか、国営諫早干拓事業潮受け堤防の撤去、排水門の常時開放を求める訴訟の控訴審において、5年間の排水門開放を命じた佐賀地裁の一審判決を支持する判決が、12月6日、福

岡高裁で下された。今回の判決を履行するために、諫早湾内の干拓地の農業・防災に配慮した予備措置を講じる必要がある。

よって、国においてはすみやかに諫早湾内の干拓地および防災に対処する予算計上をおこなった上で、再生のための早期開門調査を実施するよう強く求める。(抜粋)

佐賀県嬉野市議会
議長 太田重喜

環太平洋経済連携協定（TPP）
交渉参加への慎重な対応を

提出者
賛成者
男 菊 田
信 好 村
秋 睦 口
也 陸 原
之 寛 田
一 浩 小
辻

我が国の農林水産業を取り巻く情勢は、担い手の減少、就業者の高齢化、耕作放棄地の増加、水産資源の減少や価格の低迷など非常に厳しい状況にある。

政府は11月9日にTPPについて、「包括的経済連携に関する基本方針」を閣議決定された。この交渉に拙速に参加した場合、我が国農業への影響は計り知れず、国内農業が壊滅的な打撃を受ける強い懸念がある。

よって、政府のTPP交渉への参加検討にあ



守れるか、日本の農業

たつては、我が国農林水産業への十分な配慮のうえで、下記のとおり慎重に検討されるよう強く要望する。

1 TPPへの参加については、国内農林水産業への壊滅的な影響を与えない限り、我が国の食料事情を危うくし、食料安全保障の観点からも、国民の生活を危機的状況に追い込むことが想定されることから、拙速な参加表明を行わないこと。

2 国際貿易交渉ならびにTPPへの参加など

の対応を進めるならば、我が国の食料の安全・安定供給、食料自給率の向上、国内の農林水産業の将来にわたる確立と振興など十分な措置を講じること。

3 TPPへの参加については、全産業の分野にわたってメリット、デメリットを国会等で慎重に審議するとともに、国民に対し詳細な情報提供を行うこと。

(抜粋)
佐賀県嬉野市議会
議長 太田重喜

議会へさまざまな意見

議員とかたろうつ会を開催しました

11月8日から11日までの4日間で、「嬉野文化センター」「轟小学校」「中央公民館」「楠風館」「吉田公民館」「大草野小学校」「久間小学校」の7ヶ所の会場でおこなわれました。

会の趣旨と違うのでは」との意見もあります。

また、参加者が増えるように、報告会のやり方についても検討する必要があると感じました。

議会では議会活性化特別委員会で、次回の開催方法や今回いただいた意見などを整理し、執行部への申し入れなどをおこなう予定です。

どの会場においても市政運営や地域の問題点など数多くの意見を頂きました。

しかし、今回で3回目の開催となりましたが、回数を重ねることに参加者が減少していく状況にあります。

現在の会場数は小学校校区を基準に決めています。エリアが広すぎるのではとの意見もあります。

また、質疑応答では、議員個人への質問は控えていただいていますし、議員も個人的な発言は控えるように申し合わせています。

しかしながら、市民の皆様からは、「かたろう



吉田公民館の会場風景



轟小学校の会場風景

- 市民のみなさんから頂いた意見の一部を掲載します。
- 1、「シーボルトの湯」にシャンプーと石鹸を設置するべきではないのか。
 - 2、行政嘱託員数は、嬉野地区、塩田地区でバランスがとれていない。
 - 3、周辺地区の市道整備などへ予算配分を。
 - 4、地区自治会への加入率が少なくなっている所もある。
 - 5、公共施設の草むしりなど維持管理を徹底されたい。
 - 6、社会文化体育館の設計内容や、業者選定に係る過程などは公開してほしい。
 - 7、市内全域において、空き家が増えつつある。防災上や犯罪への影響もあるので対策を。
 - 8、北部球場において、応援する際の太鼓などの使用は、周辺への騒音である。規制すべきでないのか。
 - 9、中学生のクラブ活動に、専門のコーチや監督がいらないところが多いのではないかと外部からでも派遣をおこなう必要がある。
- 是正すべきでないか。
- そのほかにも多数の貴重な御意見を頂きました。報告会への御参加ありがとうございました。

塩田中の3年生が 議会を傍聴



初めての傍聴を経験

塩田中学校の3年生が、12月8日の午後1時から1時間、議会の一般質問を傍聴にこられました。毎回、本会議については、多くの市民の方々が傍聴されますが、中学生の授業の一環として傍聴されるのは、嬉野市となって初めてのことでした。

市議会では、多くの市民の方々に、議会を身近に感じていただくため、「議会だより」の発行や「議会報告会」、「有線テレビでの放映」など、少しでも質疑内容や議会のことを知っていただくために取り組んでいます。今後も嬉野市の将来を担う子ども達が、政治に興味をもってもらえるように、議会の傍聴をしていただけたらと思います。

生徒のみなさんが、議会を傍聴して感じたことを、「嬉野市議会傍聴レポート」としてまとめられていましたので、その一部を紹介します。
(原文のまま抜粋)

1 「議員さんが言っていた予防接種の助成金など、嬉野市の議員さん達が嬉野市のために、いろいろな提案や質問をしているところを見ることができたのでよかったです。
中学校の立会演説会に似ているなあと思いました。」

2 「とても意外だったのは、出席されていた人の人数が多かったことです。
議員さんだけで市の政治について話し合いがされると思っていたので、教育長などたくさんの方が、議会に出席されているということを知りませんでした。」

3 「議員さんは男の人

ばかりで、女の人がいなかったように見えたので、なんだかなあと思いました。」

4 「今日の傍聴は本当によかったです。
難しい言葉をたくさん使ってたので、よく解らないところもあつたけど、解るところも少しあつたのでよかったです。」

この前考えた、塩田川の内容はでてこなかったけど、いろいろ

と聞けてよかったです。本当は、ずっと見ていたかったけど、1時間とちょっとしか見れなかったところが残念です。
今日は本当に貴重な体験ができました。」

5 「発言残り時間をもうけて、一人あたりの時間が規制されている。(一人ひとりの発言時間が長いから) 新聞社の方も来ていらつしやる」



真剣にメモを取る中学生

勝負



家庭の日(第3日曜日)を定着させよ

平野 昭義 議員

答 原則としてクラブ活動等の休止が望ましいと考える

平野 「ゆとり」教育を目指し、平成14年度から完全週5日制が実施されてきたが、今日の児童・生徒の学力の変化、地域社会とのかかわり、また家庭教育などさまざまな課題を抱えている。

佐賀県は、第3日曜日を「家庭の日」と定め、家族との繋がり、絆を深めることを提唱してきた。

第3日曜日の「家庭の日」を定着させるべきだ。

教育長 第3日曜日の「家庭の日」については原則として、クラブ活動などの休止が望ましいと考えるが、児童、生徒や保護者及び指導者の理解を得て進めたいと考える。

県全体で大会や試合などの開催の調整が必要である。

練習については、時間短縮などについても考える必要がある。

平野 子ども頃から「故郷を愛する心」を養わせ、日本人として誇りと自身を抱く環境を整える提案をしていくべきでないか。

教育長 郷土愛については、地域行事にも参加している小学校もあり、茶祖の吉村新兵衛さんの資料を使い、郷土愛についても学ばせている。

また、道徳教育も小中連携の中で培っている。

婚活事業はまったなし

平野 嬉野市においても、23年度の機構改革において、結婚支援課の新設が予定されている。

伊万里市と武雄市は「婚活・お結び課」の協定が結ばれ連携による弾みが期待される。

協議会に参加しないのか。また、実施年度のカット



中学校の体育授業風景

ブル誕生に祝金を考えられないのか。

市長 近隣の市町とも連携しドリームキャッチも継続していく。

また、記念品などについては検討していきたい。

平野 厳しい財政難の中、人口3万人を割る白石町は廃止した。

4月から多久市も部長

制を廃止する。

当市も廃止し、スリム化した緊張感が漂う体制で運営すべきではないか。

市長 嬉野町時代から部長制をとってきた。管理職のあり方は、今の形が一番良いということで努力してきた。

真剣



農業集落排水事業で未整備地区の計画は

山口政人 議員

答 整備計画を作成途中

山口 整備計画をなぜ今計画しなければいけないのか。

市長 塩田地区では、久間東部、久間北部、大草野この3地区が未整備となっているが、時代も変わってきたので、農業集落排水事業なども含めてそのほかの処理事業なども考えながら、より効果的なものでできればということまで今検討している。

山口 下水道事業と合わせた事業の進捗を見直すということなのか。

市長 事業の進捗を見直すということではない。

山口 整備計画は、何年度中に完了するのか。

市長 23年度中には策定をしていきたい。

山口 総合計画の中で未整備地区の目標年度が平成29年度となっているがそれは完了と理解してよいか。

市長 供用開始のめどとして今努力している。

市有地の活用について

山口 嬉野市内に防災備



排水管理設が進む五町田地区

蓄所はあるのか。

市長 正式に決定したものはない。

山口 いつ、どのような災害がくるのかわからない今日、市有地の空き地などを活用して、食料・水・毛布などを保存できる防災備蓄所を小学校区に1ヶ所でも整備したらどうか。

市長 防災の対策備品は備蓄する時代なので、今後検討していきたい。歴史民俗資料館の活用について

山口 塩田には、志田焼き・大草野焼き・本源氏焼き・野口謙次郎氏の掛け軸・久間炭鉱の当時の

写真などをお持ちの方がおられると思うので、塩田を訪れる皆さんに、紹介できる企画をしたらどうか。

教育長 企画展を年に一度と想っているのですが、今後、検討していきたい。

山口 資料館が購入する焼物などの予算がここ数年計上されていないがどうするのかが。

教育長 今後の課題として、検討したい。

現代版湯治場としての嬉野温泉を確立せよ

梶原 睦也 議員

答 関係団体と協議する



佐賀市においては、富士大和温泉病院と古湯温泉・熊の川温泉旅館との連携で1泊2日の人間ドッグがおこなわれている。

梶原 昔からの湯治場のイメージと現代の医療とを融合した、現代版の湯治場を目指すべきだ。

これまで検診中は病室での宿泊だったが、この制度では、地元旅館に宿泊し、ゆっくりと人間ドッグをしていただく。このような医療施設と



健康保養地の指定を受けている嬉野温泉

の連携を、本市でも取り組むべきではないか。

市長 医療機関の受け皿の問題がある。今後、民間の医療施設の方と、宿泊型の人間ドッグについては協議していく。

梶原 最近はずつ病も大変な社会問題となっているが、うつ病対策として温泉や自然環境を活用した心の癒しの場としての温泉療法に取り組むべきと考えるがいかがか。

市長 精神的な病で苦労されている方もたくさんおられる。そのような点についても温泉入浴は効果があると考えます。

また、森林浴など組み合わせることにより癒しが得られるのではないかと。それに加え嬉野市を中心とした地域には、精神医療施設もたくさんあり



市長は理念・政策を具体的に市民へ知らせよ

山下 芳郎 議員

答 常に報告しているが広報の方法を考える

山下 市長の政治理念・骨格予算と具体的政策を公表し、市民を引っ張っていった欲しい。市のホームページを有

効に使うて全国に発信すべきである。

閲覧者の声も聞ける窓口の設置はいかがか。

市長 広報の仕方でも検討する。「嬉しい」の文字を見ると元気が出るとの意見もあり、努力する。行政改革大綱の2件

山下 税収の確保が厳しい中、税収以外の歳入、経費節減方法を市職員・市民から聞く機関窓口を作れないか。

後発医薬品を促進することも即効性のある大きな経費節減策である。



現在の嬉野市のホームページ

市長 不足分の補填は検討中である。税収以外の歳入方法は提案制度などで進めたい。

山下 「人事評価制度」は国が作ったマニュアルを直属の上司が人事評価して、これが報酬に繋がる制度は人材の育成として意味があるのか。

規定の枠を超えて目標を持ってするような人材育成をしてほしい。

市長 試行期間中であるが、評価能力を上げる研修をしている。

この制度を外部委託でなく嬉野市が独自に作れないか。

オンデマンド交通システムの導入について

副島 孝裕 議員

答 今後検討をする必要がある



みをはじめ自治体が既に出きており、予約により利用が可能であれば、利用者確保しながら運行できるので、効率的であり、今後検討をする必要があると思う。

副島 乗合タクシーの利用実績が低迷する中で、利用者及び委託事業者への効率的・効果的活用を推進するため、オンデマンド交通システムの導入が必要と思うかがか

市長 先日のテレビ報道であったように、取り組

副島 公共交通を維持していくため、廃止代替バスや乗合タクシーを運行することで、自治体は大

関係業界の支援として、ご意見を頂きながら情報を集めて、継続的效果が見込めれば取り組めるものと考えている。

市長 合併以降、組織の統合をすすめてきた。各団体の発足当時や合併後の活動により、組織の変動があつており、効果的な補助制度があれば検討したいが、中身について情報を集めて、今の制度でどこがどう不都合

十分に連携できると考える。
梶原 今後は温泉入浴指導員の養成・増員も必要ではないか。
観光商工課長 いろいろな場面で入浴に対する要望があり1人でも多くの指導者をつくりたい。
梶原 観光産業は嬉野のイメージそのもので、観

光産業が元気になることで嬉野が元気になる。昨年、プレミアム宿泊券を発行したが、そのような方法で連泊客のための湯治宿泊券を発行してはどうか。
市長 観光協会などと協議したい。
梶原 公園や名所を誰も

個人の目標を設定することにより評価する側、される側の相互研修で理解度を上げたい。
ブロードバンド時代にに向けた今後の対応は
山下 地方の生き残り策として情報通信環境の整備と高齢者など市民向けICT活用をどうするか

観光、嬉野茶など地域産業を世界へ向けて双方で情報交流をめざせ。周辺行政区と連携してシリコンバレー特区ができないか。
地元ケーブルテレビ会社を交えた情報通信研究会の設定はいかがか。
市長 ブロードバンドは超高速のラインも敷設で

きた。既存の意見を聞きながら、クラウド構想を見て総合的に検討する。

か勉強させて頂きたい。人材派遣職員について

市長 平成23年3月末で契約が満了になり、以降の組織については、嘱託を中心として公募をおこない、人材の確保をおこないたい。
再度、勤務をお望みの場合についても、一般公募に応募いただき採用試験に合格されれば、勤務をして頂くことになる。



利用者が伸びない乗合タクシー



イルミネーションを観光スポットに

神近 勝彦 議員

答 次年度取り組みたい

神近 数年前より本市でも、イルミネーションを個人の家で飾りつけされている所があり、観光ス

神近 市のホームページに、プロポーザルの資料として、事業概要資料4があるが、その中で複合

社会文化体育館の詳細

明施設を考えている。
 では、中期財政計画で明るさを取り戻すような照明施設を考えている。

市長 ぜひ、次年度には取り組みたいと考えている。

ただ、他の自治体などの状況をみると、ある程度の迫力というものが無いとお客様に訴えることができないと思う。

また、「シーボルトの湯」から駐車場までは、距離があると言われているが、これも飾りつければ距離感の緩和になると思うがどうか。

ポットになっている。夜、本通りを歩くと、暗くて寂しさを感じる。空き家など所有者の了解を得られれば、市民のみなさんに材料を支給して、飾り付けをお願いすれば、新たな観光スポットとなるし、癒しにもなると思うがどうか。



建設中の処理場（三ヶ崎地区）

市長 市では広報していないので、取り組みを進める。

また、肝臓機能障害者手帳交付をされている方

西村 肝臓機能障害者認定制度が22年4月から施行されたが、市民への周知はされたのか。



また、市内で肝臓機能障害者手帳交付は何人か。

市長 市では広報していないので、取り組みを進める。

（五町田・谷所）集落排水事業の本管接続は

西村 信夫 議員

答 大字谷所は4月接続可能である。

西村 肝臓機能障害者手帳交付の認定基準は、福祉課長 チャイルド・ピユウ分類によって判定され、血清アルブミン値・プロトロンビン時間・血清総ビリルビン値によって肝臓機能障害の重症度が評価される。

は市内で5名である。

西村 肝臓機能障害者手帳交付の認定基準は、福祉課長 チャイルド・ピユウ分類によって判定され、血清アルブミン値・プロトロンビン時間・血清総ビリルビン値によって肝臓機能障害の重症度が評価される。

すると自動車税の減免など福祉サービスが受けられるが、本市の対応は。

市民税務課長 23年4月から肝臓機能障害者の軽自動車税の減免ができるよう規則の改正をする。

と考えている。

西村 汚泥の最終処分、農地還元計画については、環境下水道課長 4地区とも100%接続見込みでコンポスト量は一日当たり約224kgで、年間製品量は約82トンとなる。

西村 4月、供用開始に向けて工事が進められているが、受益者の本管接続は4月に実施できるか。

市長 計画どおり進んでおり自然流下方式地区は接続可能である。

西村 現在3地区（美野・馬場下・上久間）の汚泥を13万6700トンの鳥衛生施設組合に搬入しているが、五町田・谷所地区の施設が稼動したら負担金はいくら軽減できるか。

環境下水道課長 衛生施設組合の負担金は年間約1580万円の減額となり、また、五町田、谷所のし尿汲み取り業務の軽減は年間2250万円軽減される。

西村 4月に供用開始ができない地域、五町田・東部地区の接続予定は。

環境下水道課長 一部の地域では24年度中になる

環境下水道課長 衛生施設組合の負担金は年間約1580万円の減額となり、また、五町田、谷所のし尿汲み取り業務の軽減は年間2250万円軽減される。



観光名所になっている個人の住宅

施設と明記されている。敷地面積や市が予定している施設概要を考えると重層建築ではないのか。

市長 重層構造に限定していない。

いろんな提案があるものと思う。

神近 公会堂の維持管理費は、570万円程度、市体育館の維持管理費は、概ね950万円程度、両方合わせた収入は325万円である。

鹿島市のエイブルは、光熱費だけで、1500万円ほどかかっている。

この計画での維持管理費はいくらになるのか。

市長 プロポーザルの設計ができれば解らない。

神近 合併特例債での建設は、収益事業ができないと聞いているがどうか。

市長 利益を追求しない、市内の団体などがおこなう興行は、認められると考えている。

神近 駐車場はどうする。

市長 奥にある公園の駐車場やグラウンドの一部を臨時的に借用することもあると考えている。

耕作放棄地対策は早急に

大島 恒典 議員

答 地域で話し合ってもらいたい



大島 近年、農業就労者の高齢化や、茶の販売価格の低迷などにより、耕作放棄地が非常に増えている状況だが、

市長 耕作放棄地の問題

は全国的な課題であり、市内でも中山間地を中心に増加している。

大島 中山間地直接支払い事業に取り組まれていない地域では、今後加速度的に増えていくと思われる。

現在、戸別での転用申請で杉やヒノキなどの植林をおこなってもらっているが、集落ごとにまとまって取り組むことが効果的であり、周知をして取り組んでいくべきではないか。

市長 地域の方と地権者の皆さんで十分協議をして取り組んでもらいたい。

大島 広葉樹などの景觀に配慮した造林など政策を持って進めていくべきである。

イノシシ対策について

大島 捕獲頭数は着実に伸びているが、被害は拡大の傾向にある、今後の対策をどうするか。

市長 21年には、佐賀県の特別対策で、捕獲がおこなわれ期待していたが、被害が増えている状況で残念であり、今回先の議



耕作放棄地はイノシシのすみ家

会で追加予算をお願いしたので、捕獲については伸びていくと考える。

大島 捕獲頭数が伸びていくと、その後の処理が問題になると思うが、どのように対応するのか。

市長 現在、埋設処理でお願いしている。

太良町の捕獲される方から他の処理についての意見が出たが、現段階では最良の方法だと考えている。

大島 全国でも再資源につなげるいろいろな取り組みがされているが課題も多いと聞くが、一つの方法として肉骨粉として

再利用する勉強をしてみたらいかがか。

市長 新しい提案なので、情報を収集して研究してみたい。

TPP問題について

大島 現在の農業を取り巻く閉塞感や、子どもたちが就職できないような経済状況を見たときに国民的な議論をしていくべきであると考えているが。

市長 議論と対策は早急にすべきだと考えている。

その他の質問
スポーツ振興について

周辺部の市道の整備はどいつする

辻 浩一 議員

答 現地を確認し緊急性を判断する



維持の要望が上がってきていると思うが、その要望がゼロベースになるように補正を組んだということだがその内容は、

建設課長 担当課としては、改良ではなく維持についてはゼロベースに近づきたいという話をした。

辻 周辺部でも県道に格上げされているところは、整備がすすんでいるが、残った市道の谷所殿の木場線・皿屋赤仁田線・西川内水頭線・藤の川金松線など幅員が狭い場所があり、少なくとも緊急車両の活動に支障が無いようにすべきではないか。

市長 指摘の路線はどこかで改良をしている。

全面改良が難しくても退避場所の設置・交差点の拡張などをずっとやっているの、ひきつづき進めていく。

辻 財政面で改良が進まない中、未改良の部分で

辻 現在のゴミ焼却施設

建設課長 要望が出たら懇切丁寧に対応し、文書で来た分には文書でお返しをしている。

また、対応の時期についても公表してもらいたい。

維持など少ない金額については、所管で対応と言うことなので要望が出た場合機動的に対応をお願いする。

市長 嬉野のゴミは紙類

嬉野市は他市町に比べると減量化が進んでいるが、さらに減量化を進めなくてはならない、どんな方策を考えているか。

市長 有価物に変えて地域のために使うことは、

地域ゴミユニティで分別をお願いして有価物とし、売上金をすべてゴミユニティに還元して活動資金にすることも考えられるがいかがか。

辻 地域ゴミユニティで

もつと分類すれば再利用できるし、水切りを家庭や事業所で徹底すれば処理費用が少なくなる。

が多く、生ゴミの水切りが不足している。



なかなか改良が進まない周辺部

産業文化センターにエレベーターの設置を

山口 要 議員

答 近いうちに取り組みたい



の後どのような検討がなされたか。

市長 検討をしたが2階と3階との設計の問題が発生をして、予算組みまで至らなかった。

山口 外づけ設置でも構わないと思うが、今後早めに設置するべきだ。

市長 基本的な構造点検をおこないながら、近いうちに取り組んでいきたい。

下水道事業どうする

山口 今、全国の下水道事業において経営難というものが深刻化している。本市の現状はどうか。

市長 経常損益をみると、公共下水道で3400万円、農業集落排水事業で9700万円の赤字となり非常に厳しい。

山口 経営を安定させるためには、大口需要者の接続が重要であるが、現在、どのような検討がなされているのか。

市長 他の自治体の対応などについて研究をしているところである。

山口 料金改定などを含めて、早急に見直せ。

山口 産業文化センターのエレベーター設置については、以前の一般質問で提案されていたが、そ



景観を活かした街づくりが必要なのでは

山口 忠孝 議員

答 観光地として取り組んでいきたい

山口 嬉野地区にある西公園を紅葉の名所として整備したらどうか。

市長 市街地から歩いて行ける親しみのある公園なので、今後とも整備をしていきたい。

山口 轟公園の樹木伐採は、専門家に相談されたりするののか。

市長 通常、担当の係員が整備をおこなっている。

山口 「轟の滝のいま昔」の解説文の設置をされたらどうか。

市長 ぜひ、検討させていただきます。

山口 轟小の樹木の多くは、地域住民の寄贈であるので、時として専門家の管理が必要なのではないか。

教育長 樹木の管理は通常、学校の用務員がおこな

なっているが、今後検討したい。

山口 木を育てることは子どもたちの心を育てることになると思うので、大切にしてもらいたい。

嬉野中学校でも校庭の「いちよう」の大木が伐採され、風情がなくなっているがどう思うか。

教育長 用務員の共同作業でおこなったのだが、実は私も少しびっくりした。

今後は、景観のことも考えないといけないと感じている。

山口 景観条例が前回否決されたが、再提出されるのか。

市長 見直しをおこなって再度提案したい。

山口 旧跡は歴史という長い時間と物語が必要だが、名所は少しの時間と手間をかければ造れる。ぜひお願いしたい。

嬉野地域婦人会について

山口 いろいろ問題があると聞いているが現状はどうなのか。

教育長 一つの組織として発足したのだが、嬉野地区、吉田地区が途中で退会され、さらに五町田地区、久間地区が退会され、会員数も約1600名が約500名に減少している。

山口 補助金交付は現状に合っていないと思うがいかがか。

教育長 補助金交付要綱に基づき交付しているが、今後効果的な補助制度となるよう検討したい。

その他の質問

民生児童委員協議会補助金について

学校教育の中の新聞活用について



バリアフリー化したい、文化センター

産業建設部長 応分負担などの問題も生じるが、排水などの仕分けも考えながら検討をしてみる。

緑の町づくり事業を

山口 緑の温泉地整備事業がおこなわれて10年以上が経過する中で、遅々として事業の進捗がみられない。

今後どうするのか。

市長 地権者との協議が進まず、借地できずに取り組みが進んでない。

今後、借地や土地利用を含めて、地権者の了解をとりながら進めていく。

山口 住民が街路樹を増やすことに、積極的に参加してもらおう「マイ・ツリー」事業を検討してみてはどうか。

市長 その事業については、公園や今後予定している新幹線周辺などで、取り入れていきたい。

山口 旧嬉野小跡地を公園にということで、以前提案したが、その後は。

市長 高校総体などもあったので検討していない。

今後、よい活用があればと考えている。

レポート

源泉の集中管理 及び観光問題について (湯河原町・箱根町)

総務企画
常任委員会



町営の源泉施設（箱根町）

嬉野市では、合併時のリーディング事業において、「源泉の集中管理」が取り上げられているが、現状では、源泉の権利問題などに直面し事業の進展が見られない。

委員会の意見

また、年間2000万人の観光客が訪れる箱根町の現状を視察調査した。

湯河原・箱根の両町とも、温泉観光地の基幹資源である温泉の、適正な利用・資源の保護を目的に町営の温泉事業に取り組みされており、その効果としては、配湯施設の統合による温度損失の改善

余剰温泉の有効活用、配湯管の整理による河川的美観向上、町営の配湯による適正かつ安定的な利用の確保などがあげられている。

嬉野温泉の現状を見た場合、湯河原町の温泉事業の目的と効果において、類似する点が多く、運営方法においても参考になるものであった。

今後、嬉野温泉が温泉を中心とした観光事業を展開するためには、源泉の集中管理における目的や意義・必要性について、源泉所有者や温泉の配湯を受けている事業者・個人との協議を積極的におこない、源泉の集中管理を早期に実現することが、最も重要な施策のひとつと考える。

文化財保護について

(岡山県倉敷市・広島県竹原市)

文教厚生常任委員会

塩田津が重要伝統建造物群保存地区に選定され、保存修理・街なみ環境整備などが毎年おこなわれている。

県の補助対象事業費の負担割合が25%から18%に減り、市の負担が増え、少子高齢化が進む中、先進地においてどのような取り組みがおこなわれているのかを調査した。

委員会の意見

倉敷市は芸術文化と伝建地区との連携、竹原市は伝建地区内の神社と町並みの素晴らしさを引き出しており、町並み保存に対する市民の意識が高いところは、両町とも共通する点であった。

塩田津においても、町並み保存会の皆さんをはじめ、市民の伝建地区に対する意識は高いものと考えられる。

ただし、保存地区内の高齢化や人口減少は懸念されるところである。

塩田津内では今後、家屋の修理・修復が進められていくが、将来空き家とならないよう、地区

委員会

農業経営及び ごみ問題について (水俣市・都城市)

産業建設 常任委員会

(ごみ問題)

近年、廃棄物処理の分野においては適正処理、環境負荷低減、循環及び再利用が大きな課題となっている。

既存の杵藤クリーンセンターにおいては、平成27年度に施設を閉鎖し、4市5町で構成する佐賀県西部広域環境組合として、新しい処理施設が27年度に稼動する計画となっている。

そこで、杵藤クリーンセンターとは異なる方法の「ごみ溶融化処理」で処理をおこなっている水俣クリーンセンターを視察した。

(農業経営について)

厳しい農業情勢の中、青果の売上高日本一の農業生産法人が、どんな経営をおこなっているのか視察した。

委員会の意見

(ごみ問題)

行政は、ごみを適正に処理するため、ごみ処理広域化を進められているが、施設建設においては、将来、環境負荷や財政負担が増加する可能性があるごみ処理方法は避けるべきである。

「ごみ溶融化方式」は、尿処理後の汚泥も処理

できるし、焼却灰を無害化できるシステムとなっており、新ごみ処理施設の処理方法については、慎重に協議する必要がある。

(農業経営について)

農業を取り巻く大きな環境変化の中で、農業を企業経営的な視点でとらえ、今後はIT経営を目指す農家や農業法人への支援も必要である。



IT管理された農業法人(都城市)



街並みが素晴らしい竹原市

のみなさんと十分に話し合いながら事業を進めていく必要があると考える。また、水が人に対して大きな癒しを与えてくれることを考えれば、塩田津の町並みを活かすため、浦田川の河川浄化と河川沿いの整備を平行してお

こない、浦田川を活かすことが今後の塩田津には欠かせないものと考ええる。

更に充実した

議会運営をめざして

嬉野市議会の3月定例会は、今まで日程表案)にあるようなスケジュールで開催してきました。通常3月議会は、補正予算と新年度の当初予算など数多くの議案があり会期が長くなります。そのため、今までの議会では補正予算の討論・採決を最終日におこなっていますので、補正予算の執行できる日数が短い期間に限られています。また、議案質疑については、一括でおこなっているため、執行部が議会に拘束される時間が非常に長くなっています。

今までも各定例会において、スムーズな議会運営ができるように、議案を考慮しながら若干の改善をおこなってきましたが、議会運営委員会では補正予算の余裕ある執行期間や職員の日常業務への影響緩和のため、さらなる改善が必要と考え、先進自治体の視察などをおこない、協議をすすめています。

3月定例会の日程案が確定すれば、市民のみならず、早急にお知らせする予定です。

通常の場合の平成23年3月定例会日程(案)

2月28日	月	議会運営常任委員会	3月12日	土	
3月1日	火		3月13日	日	
3月2日	水	定例会開会	3月14日	月	議案質疑
3月3日	木	常任委員会	3月15日	火	議案質疑
3月4日	金	常任委員会	3月16日	水	議案質疑
3月5日	土		3月17日	木	議案質疑
3月6日	日		3月18日	金	小学校卒業式
3月7日	月	常任委員会	3月19日	土	
3月8日	火	一般質問	3月20日	日	
3月9日	水	一般質問	3月21日	月	
3月10日	木	一般質問	3月22日	火	
3月11日	金	中学校卒業式	3月23日	水	討論・採決・閉会

閉会中の委員会調査

付託事件名	付託委員会名
地域コミュニティについて	総務企画常任委員会
下水処理について	産業建設常任委員会
各期の議会の会期日程の議会運営に関する事項及び議長の諮問に関する事項	議会運営委員会
議会広報の編集発行に係わる調査	議会広報編集特別委員会
議会の活性化を図るための調査	議会活性化特別委員会

議会交際費支出状況

(平成22年10月1日～平成22年12月31日)
(単位：円)

交際費の項目	件数	支出額
香典	0	0
供花	0	0
御祝	4	30,000
会費	2	15,000
その他	0	0
計	6	45,000

- ・御祝 公的性格を有する団体への支出
- ・会費 上部団体並びに公的性格を有する団体との協議会費等